

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年8月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	トルコ共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 中東工科大学 現地言語: Middle East Technical University
留学期間	2018年9月～2019年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年6月5日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:10月から1月 2学期:2月から5月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (リラ)	円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	3000	6万円	
食費	10000	20万円	自炊しないで好きなものを食べていました。
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
教養娯楽費	0	円	
被服費	1500	3万円	
医療費	0	円	
保険費	0	円	形態:日本で買ったもののみ
渡航旅費		22万円	
雑費	10000	15万円	交通費、交際費等
その他		15万円	トルコ外に旅行したお金
その他		円	
その他		円	
合計		81万円	抑えようと思えばこれの半分でも可能だと思います

## 渡航関連

渡航経路: 成田ーイスタンブールーアンカラ

渡航費用

チケットの種類 ターキッシュエアラインズ

往路 約 11 万

復路 約 11 万

合計 約 22 万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

特になし

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

 個室 OR  相部屋(同居人数 4 人)

3)住居を探した方法:

大学より斡旋

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は、費用も抑えられ、なるべく人と触れ合いたかったのでも狭い部屋で個室もあるわけではない部屋に 4 人で住みました。ストレスが溜まることもありましたが、良い体験にはなりました。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した: 大学の診察を受け、その後ほかの病院に送ってもらいました。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生のためのオフィスに出向きました

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内の建物はほとんどが Wi-Fi があり、接続も困ることはありませんでしたが、大学外は Wi-Fi を見つけるのは難しかったです。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の銀行のデビットカードですべて済ませました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
ECTS42単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English for Academic Purpose	学業のための英語
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	ECTS6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	
授業内容	基本的な英語の4技能について学びました
試験・課題など	課題は、単語を覚えるくらいで、試験もそんなに難しくはなかったです。
感想を自由記入	トルコ人と英語の勉強をするのは英語のとらえ方の違い方とかが知れてよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Begging Turkish		トルコ語初級	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1 学期		
単位数	ECTS6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授			
授業内容	トルコ語をアルファベットから学んだ。		
試験・課題など	課題も試験も簡単なものだった。		
感想を自由記入	トルコの生活を送るうえで必要なことを学べた(数字など)		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Society and Culture		社会と文化(社会学)	
科目設置学部・研究科			
履修期間			
単位数	ECTS6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授			
授業内容	社会学の基礎的なことを学ぶことができた。		
試験・課題など	試験が3回くらいあり、教科書を何度も読み苦勞しました。		
感想を自由記入	私以外が、トルコ人ということもあって、たまに教授がトルコ語を使用することもあったが、なんとか単位は取得できた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Commun. In Intenational Relations 1		国際関係におけるコミュニケーション	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1 学期		
単位数	ECTS6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が1回		
担当教授			
授業内容	国際関係の記事を読んだり、プレゼンをしました		
試験・課題など	プレゼンが、個人もグループもあったので苦勞しました。		
感想を自由記入	個人は、自分でテーマや話したいことが多いが、グループでは他の生徒に押し通されテーマも話す内容も決められ、自分の弱さを感じた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro. To Foreign Policy Analysis		海外戦略分析入門	
科目設置学部・研究科			
履修期間	1 学期		
単位数	ECTS6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授			
授業内容	アメリカやロシアの政治戦略やトルコそして、日本、中国と幅広く学べた。		
試験・課題など	課題が何と、1 学期の期末後に提出と期末テスト後に知らされ、大変でした。		
感想を自由記入	この講義の教授は、ほぼ板書もプリントもなく教授の話の聞くというものであったし、英語の発音が聞き取りづらかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Commun. In Intenational Relations 2		国際関係におけるコミュニケーション	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2 学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授			
授業内容	一学期と同じ教授のもと、二学期も受講しました。		
試験・課題など	一学期と同様でした。		
感想を自由記入	自分自身の英語力か、度胸が育ったのか、前よりはスムーズにプレゼンができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro. To International Relations		国際関係学入門	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2 学期		
単位数	ECTS6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が3回		
担当教授			
授業内容	国際関係について理論から歴史など基礎的なことを学ぶことができた。		
試験・課題など	試験が、3 回あったけど、教授のプレゼンテーションをざっと見ておけばある程度の点数は取れました。		
感想を自由記入	教授が、プレゼンテーションを読んで少し話を加えるという感じで、講義に来る生徒に比べて、試験の際の人数が比にならない多かった。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	フィリピンにて一か月英語学習
10月～12月	出願
2018年 1月～3月	派遣が決まり、トルコ関連の情報を収集
4月～7月	英語学習
8月～9月	
10月～12月	
2019年 1月～3月	
4月～7月	帰国
8月～9月	将来のプランを模索
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	私は、高校生のころから国は決めていなかったが、英語を使い違う国に滞在したいと思い、国際日本学部を選びました。ただ、漠然と日本で不自由なく生活を送るだけでは価値観は偏って狭い世界で生きるのは嫌だと思い留学をしたくなりました。それは、留学が自分たちの生活がどれだけ安全で、他とは異なると教えてくれる要素もあると思いました。また、留学といっても、語学留学といった語学を目的とする留学ではなく、英語とジェスチャーを駆使し暮らすことに憧れていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	もちろん、英語力はあって越したことはありませんが、たった二学期で英語が飛躍的に伸びたり、専門分野の理解が格段に上がるということには中々ないと思います。ただ、ほかの国の人と会話できる英語の力は必要だと思いました。勉強面では、英語で読む力がもっとあれば良かったなと思います。どこでも言われていることですが、日本についての知識、歴史については聞かれますし、知らないと恥をかく場面もあるので、少しは勉強すべきだったと後悔しています。
この留学先を選んだ理由	この留学で自分は、自分自身を少しでも変えたいと思っていました。そのために、日本とは異なり先進国でないことにまず絞りました。それと、以前から学問として宗教について興味があったので、トルコに決めました。また、日本人が少ないということが自分的には魅力でした。この大学には、世界的に多い中国人留学生すらも少ないですし、その代わりに、アラブ諸国からの生徒が多く異なる文化で生きたい自分にとって絶好の場所だと思いました。
大学・学生の雰囲気	この大学は、本当に1つの町という感じがするほど大きすぎます。カフェ、レストラン、森、ジム、スタジアム、と何でもあります。また、緑が多くどこにでも学生が寝そべったりしたり、チャイを飲んで喋ったりと日本の大学とは全く異なった生活ができました。学生は、勉強とプライベートな時間をしっかり分けているイメージがありました。学期の初めは、カフェなど多くの人で賑わっていますが、試験前になると打って変わって、図書館に朝までこもって勉強なんてこともあります。
寮の雰囲気	私の寮は、本当に狭い部屋に二段ベッドが二つと小さいクローゼット、2人用の机、そして冷蔵庫という想像もできなかった生活でしたが、その分ルームメイトとは近くなれました。他の部屋の学生とも近く交流できました。特に、パーティーなどがあるわけでもないですが、チャイを飲みながらその日にあったことを話したり、相談を聞いてもらったりしていました。たまに、寮の食堂でサッカーの試合をみんなで観戦したりと、何か用意されているわけではないですが、みんな気さくで話しかけてくれたりと第二のホームといえるくらい好きな場所です。
交友関係	最初のほうは、他の生徒の英語についていくのも必至で全く友達ができなかったということもありました。ですが、大学のアイスホッケーのチームに入り、友達がなくなった気がします。チームでは、自分以外はトルコ人でしたが、それが逆に新鮮で楽しかったです。アンカラは、東京みたく遊べる場所は限られていたけど、人と会話することの楽しさをトルコで見つけられた気がします。パーティーなどはほとんど行ったことはないですが、友達はできたと思います。
困ったこと、大変だったこと	まず、日本で生活していた自分にとってはすべてが新鮮でした。ですが、起きる時間がまず大きく異なります。週末ともなると、午後に起きることが大半です。自分もそれが移り今では、日本でも何も用がなければ昼間まで寝てます。やはり、困ったのは寮の部屋でもあります。まず、4人が狭すぎる部屋に住んでいるため、その中でイヤホンなしで映画を見たり、ギターを弾いたり、片付けがまったくできなかったり、本当に色々でした。自分も迷惑をかけることも多々ありましたが、この生活を刺激があり楽しかった分、大変でもありました。
学習内容・勉強について	最初のほうは、理解に乏しかったため、録音し聞いて再度理解するようになっていましたが、それより他の生徒に聞いて教えてもらうほうが得策だと気づきそうしました。特に、トルコでは日本人学生が珍しいのか、興味を持ってくれているため、積極的に何でもしてくれます。自分が思うに、英語で学んで専門知識を入れるというのは、この時代、日本でもできることだと思います。だからこそ、プレゼンテーションなどは、刺激のあるものでした。日本では、いつも原稿を用意していましたが、あっちは原稿は書かずに、英語でプレゼンテーションをしました。もちろん、詰まることが多々ありますが、学ぶことが多かった気がします。

課題・試験について	課題の量は、自分がやったことのないほどの量のものもありましたが、100%を目指すのではなく、目を通すことに力を入れました。基本は、次の授業までにリーディングしておくというものでしたので、その授業に間に合わなくても最低でも1回は目を通しておいて、試験勉強しやすいようにしていました。試験については、他の学生もかなり勉強しているのでそれが、自分もしなくてはいけないという気持ちになって嫌でも勉強していました。
大学外の活動について	大学外の活動については、限られたことしかしていません。たまに、日本大使館の人とお会いさせて頂く機会があり、そういう体験は今までなかったのが新鮮でした。一回、他の言語を大学外で勉強しようとしたのですが、周りが英語も理解できないのに加え、先生もよくトルコ語を使うため、通って、学習するのは難しいと思いつぐに辞めたこともありました。基本的には、大学の人といることが多く、大学外ではあまり行動していませんでした。
留学を志す人へ	まず、何よりもそこで起こることや、その人に対して否定しないで受け入れることが大事だと思います。留学をすることは必ず自分の視野を広げることは可能です。日本では、どんな職業でもよければすぐに仕事を見つけられます。アルバイトもそうです。ですが、自分が行ったトルコでは、たとえ一流の大学を卒業したとしても、まず仕事に就けるかわかりません。大統領についてあまり否定的なことを発信できません。そんな国はたくさんあると思いますが、日本では一流企業に就職が、..みたいな会話がよくありますがそんな次元ではないし、良いお金を稼ぐ=幸せではないことに自分は気づきました。日本での生活は、本当に不自由がなくて何もかも持っているため、幸せが何かわからなくなっている気がします。留学をすれば、人生について考えるおおきな助けになると思います。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		アイスホッケー	アイスホッケー				
	授業	授業	授業	授業	自習	自習	
午後			授業				出かける
	授業	自習		授業	授業		出かける
夕刻		出かける		出かける			
夜						アイスホッケー	自習